

平成 29 年度事業報告書（第 6 期）

第 6 期 平成 29 年 8 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日まで

特定非営利活動法人フェアスタートサポート

1 事業の成果

東京、神奈川県だけでなく関東圏全域への支援拡大に引き続き取り組み、各地で支援への大きなニーズを改めて感じた。講演会や冊子の発行による活動の発信に大きな反響が寄せられ、団体が取り組む活動への理解が全国規模で促進されつつあることを感じられた年度となった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 児童養護施設、自立援助ホーム入所児童を中心とする、社会的養護のもとで生活をする児童等へのキャリア教育事業

ア 社会的養護のもとで暮らす若者等の就職相談

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす若者や夜間定時制高校等に通う若者の就職の相談業務を通じ、就労体験や会社見学など必要なステップへとつなげる。また、希望があれば適性検査を無料で提供し、一人ひとりの興味や適性を把握しながら、ミスマッチのない就職を目指す。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 関東圏を中心とした児童養護施設、夜間定時制高校等
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 社会的養護や夜間定時制高校等の若者、教員、職員、里親等
- ・実績 61 件
- ・支出額 2,038,046 円

イ 会社見学、就労体験

- ・内 容 社会的養護や定時制高校の若者の会社見学や就労体験を受け入れてくれる企業情報を提供し、コーディネートする。実際に就職する前に興味がある職種を体験する事で、就職後のミスマッチによる早期離職を防ぐ。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 各受け入れ先企業
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 社会的養護や定時制高校等の若者、教員、職員、里親等
- ・実績 83 件
- ・支出額 769,522 円

ウ プログラミング教室

- ・内 容 児童養護施設等に入所する若者を対象とした1日開催の単発教室。協力企業と連携してプログラミングの基礎を学ぶ教室を開催。
- ・日 時 平成29年8月26日 13:00~16:00
- ・場 所 東西株式会社 東京都大田区大森北1-1-10 大森シティビル9階
- ・受益対象者 東京、神奈川の児童養護施設で暮らす若者
- ・実績 4人(中学3年生~高校3年生)参加
- ・従事者人員 2人
- ・支出額 15,388円

エ 神奈川、東京以外の関東圏における、地域の施設と企業とのコーディネート事業

- ・内 容 千葉、埼玉、栃木、群馬、茨城、静岡県内の児童養護施設とその地域の企業の関係作りのために、交流会や見学会を開催する。施設と企業が繋がりを持つことで、相互理解が深まり、入所児童への就職支援の幅が広がる。
- ・日 時 児童養護施設の高校生と企業団体の交流会等の実施日程
29年8月7日、22日
30年4月3日
5月9日、24日
6月6日、8日、18日、25日、26日
7月9日、19日、23日、26日
- ・場 所 各児童養護施設、企業等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 神奈川・東京以外の関東圏の児童養護施設や地域の企業
- ・実績人数 216人
- ・支出額 3,023,415円

オ 情報誌「エール」の発行

- ・内 容 社会的養護等で育った後に社会人として自立した20代の若者、3~40代の方のインタビュー等を集めた冊子「エール」を刊行し全国の児童養護施設等に無料送付を行う。
- ・日 時 平成30年3月発行
- ・場 所 全国の児童養護施設、自立援助ホーム、定時制高校等へ郵送
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 全国の社会的養護等の若者
- ・支出額 644,997円

カ 定時制高校でのキャリアセミナー

- ・内 容 定時制高校にて、企業経営者や団体代表が講師となり生徒たちに向けてキャリア授業を行った。
- ・日 時 平成29年11月10日 津久井高校定時制
11月29日 厚木清南高校定時制
30年1月23日 厚木清南高校定時制

| | | |
|--------|---|------------|
| | 1月31日 | 厚木清南高校定時制 |
| | 2月26日 | 横浜翠嵐高校定時制 |
| | 3月20日 | 神奈川工業高校定時制 |
| | 6月28日 | 厚木清南高校定時制 |
| | 7月10日 | 厚木清南高校定時制 |
| | 7月18日 | 厚木清南高校定時制 |
| | 7月24日 | 横浜翠嵐高校定時制 |
| ・場 所 | 津久井高校、厚木清南高校、横浜翠嵐高校、神奈川工業高校定時制 | |
| ・従事者人員 | 4人 | |
| ・受益対象者 | 定時制高校の生徒 | |
| ・実績人数 | 376人 | |
| | 津久井高校定時制 20人、厚木清南高校定時制 235人 横浜翠嵐高校定時制 71人、神奈川工業高校定時制 50人 | |
| ・支出額 | 3,127,942円 | |

② 社会的養護等のもとを巣立った若者の就職後のアフターフォロー事業

| | | |
|--------|--|--|
| ・内 容 | 社会的養護や定時制高校から巣立った若者と、様々な職種の社会人、学生ボランティア等による交流イベントを行い、また個別相談の機会を設け、就職したての若者の就労が持続する為のサポートを行う。 | |
| ・日 時 | ＜個別相談＞随時 ＜交流イベント＞平成30年1月14日 新年会（11人） 3月22日 卒業パーティー（12人） 5月26日 初任給祝い会（5人） | |
| ・場 所 | 横浜市内飲食店、市民センター等 | |
| ・受益対象者 | 社会的養護等のもとで育った若手社会人、その他一般人 | |
| ・実績人数 | イベント参加 28人 | |
| ・従事者人員 | 4人 | |
| ・支出額 | 242,527円 | |

③ 社会的養護施設における退所に向けたインケアの質の拡充モデル事業（委託事業）

| | | |
|--------|--|--|
| ・内 容 | 児童養護施設等の退所者において、就職に向けた支援を行った児童のうち、転職や退職など不調になった事例を検証するために事例検討会を開催した。検討会では、児童養護施設関係者や企業関係者等に協力を依頼し、インケアについて様々な視点から検討した。 | |
| ・日 時 | 平成29年8月～平成30年1月（検討会 計4回開催） | |
| ・場 所 | 神奈川県・東京都の市民センター、企業の会議室等 | |
| ・受益対象者 | 社会的養護等退所者、児童養護施設等関係者、企業関係者 等 | |
| ・従事者人員 | 3人 | |
| ・支出額 | 1,500,000円 | |